

居宅介護支援 ノバ・メディクス

(君津市・君津圏域)

■ 事業所データ

- ・ サービス種別：居宅介護支援
- ・ 所在地：君津市東坂田4-8-23
- ・ 利用者数：205名
- ・ 職員数：13名 主任介護支援専門員 4名（内1名管理者兼務）介護支援専門員1名 計5名



■ 取り組みの概要

- ・ ケアマネジャーが担う「利用者の初回訪問からサービス事業所との連携」までの業務において、**記録作成やケアプラン作成等を手書きで行っており、多くの時間を要していたことに加え、提供表の送付に係る精神的負担が大きかった**。そこで、手書きによる業務運用を見直し、テクノロジーを活用することで業務の効率化を図った。
- ・ 利用者への初回訪問時において、介護業界向けの**議事録・記録作成ツール「noman」**を導入し、紙による記録をデジタル化したことで、**職員1人当たり13時間/月の業務削減につながった**。また、現場事業所への連絡については、従来FAXにより実施していた**連絡業務を「Sapon」**により代替することで、同様に職員の業務負担軽減につながった。さらに、ケアプラン作成にあたっては、**ケアマネジメント支援システム「SOIN（ソウン）」**を活用し、記録システム「ワイズマン」への入力作業の効率化及び新しい視点や気づきの機会となり、**ケアプラン内容の質的向上**につながった。

■ 取り組みのポイント

- ・ **【業務フローのデジタル化による効率化実現】** 記録・ケアプラン作成や事業所連携に時間を要していた手書き業務に対し、「noman」、「SOIN（ソウン）」、「Sapon」を組み合わせ導入・活用し、初回訪問時記録からケアプラン作成、事業所連携までの業務フローを一体的にデジタル化・効率化したこと。

■ なぜ「ケアマネ業務支援機器」の業務改善に取り組んだのか



管理者 主任介護支援専門員 藤井さん

元々、柔軟な考えでチャレンジ精神に満ちた介護支援専門員が集まっている居宅介護支援事業所ではありましたが、私たちのモットーである「ご利用者及びご家族に寄り添いたい」「記録に時間をかけるのではなく、ご利用者とご家族と実りのある対面時間を少しでも長く共有したい」と考えデジタル化・効率化にチャレンジしました。



何かお困りでしょうか？
該当する項目を以下より選択してください

- ・ 様の居宅サービス計画書_第1表について
- ・ 介護等に関するご質問

■ 「介護業務支援機器」の活用にあたっての課題と工夫した点



主任介護支援専門員 中村さん

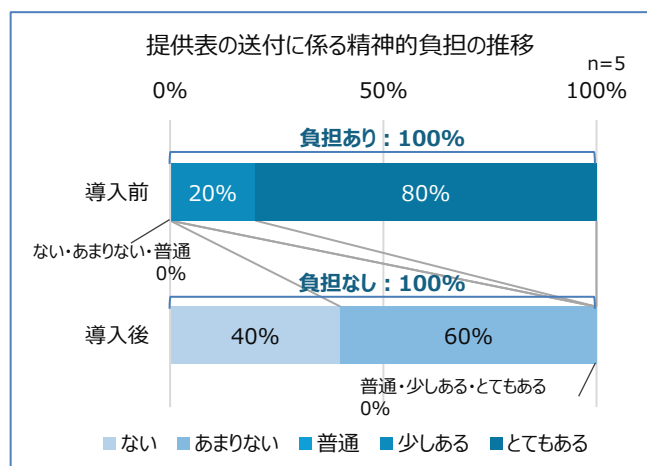
- ・【課題1】 **利用者の意向を十分に反映したケアプラン作成**
 - SOINのプロンプト（指示内容）を工夫することで必要なアウトプットを引き出せる可能性があるため、PC操作に慣れた職員を中心に活用方法の検討を進めています。また、作成したプロンプトを事業所内で共有し、職員間で活用できるよう工夫しています。
- ・【課題2】 **DXに不慣れな職員への対応**
 - 操作方法を丁寧に共有しながら活用を進めた結果、最年長の職員も使いこなせるようになり、DXが現場に定着しました。

■ 数字で見る「業務改善」の成果



成果指標：ケアプラン業務時間、用紙枚数
業務における身体的・精神的負担

- ・ ケアマネ業務全体で**約42時間の時間削減**に成功した。
- ・ FAX送付ミスやFAX漏れ等についても、「**負担あり**」が**100%から50%**となり、**精神的負担の軽減**につながった。
- ・ 提供票以外の書類も紙で出力することが減り、月に約1,400枚消費していた**用紙がほぼ不要**となったことで、**コスト削減**につながった。



■ これから「業務改善」に取り組む事業所へのメッセージ



管理者 主任介護支援専門員 藤井さん

どんな困難なことも一歩踏み出してみないと、どのような未来が待っているのかは分かりません。「千里の道も一歩から」新しいことにチャレンジすることは、心配な反面、わくわくする楽しさも待っています。

1人では難しいことも、事業所の仲間である介護支援専門員や、他事業所のサービス事業所の方々、医療・行政・福祉・地域の方々、その先にいらっしゃるご利用者やご家族とともに、よりよい支援を目指して力を合わせて取り組んでいきたいと思えます。私たちケアマネジャーは、書類作成に時間をかけるのではなく、ご利用者との関わりの時間に多くの時間を充て、ソーシャルワークとして日々の相談援助に取り組むことを大切にしています。今回の業務改善事業に参加させていただいたことで、新しい未来への一歩を踏み出しました。

皆様も是非、業務改善に取り組んでいただき、介護支援専門員の醍醐味である「相談支援」の時間を今よりさらに増やすことで、日々のソーシャルワークを楽しみつつ温かみのある支援を共に地域に広げましょう。

■ 業務改善の年間スケジュール

6月	業務改善の取り組み開始宣言	11月	noman、SOIN、Saponを導入
7月	施設の課題の洗い出し	12月	業務改善後の業務時間等を測定
8月	導入計画書の作成（～11月）	1月	PJチームで取り組みの振り返り
9月	介護テクノロジー補助金申請	2月	事業所全体で取り組みの振り返り
10月	業務改善前の業務時間等を測定	3月	成果発表会で事例報告